

KSKR  
NO. 22



パンジーだより

くぼ ゆうこ

発行 1997年4月

編集 クリエイティブハウス

“パンジー”



「ノープロブレム」



新しい芽生えの季節、今パンジーは5回目の春を迎え、新芽が大きく花開きました。

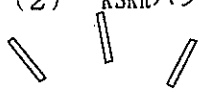
今年4月より、従来の授産活動とグループホームに加え、新しい事業として「ショートステイ」が始まりました。そしてさらに「ショップパンジー」が無認可作業所として再スタートしました。通所者も、パンジーとショップを合わせて37名になりました。37名のメンバーはパン部門、クリエイティブ部門で専門家の手ほどきをうけたりしながら、個性豊かな製品作りと販売に励んでいます。

「ショップパンジー」では接客を通して社会の風をより身近に感じながら、社会性を学んでいます。また、自立生活センター「わくわく」のガイドヘルパー活動では「楽しいことなら何でもしようよ」と、年々活動を充実させています。さらにメンバー自身による講演活動も積極的に行なっています。

そんな中で、常勤職員15名は、メンバーによりよいサポートができるよう3名のスーパーバイザーより（差別や障害者運動に関する学習、自閉的なメンバーへの関わり方、自立メンバーへのきめ細やかな生活面のサポートetc）定期的に研修を重ねています。この様にパンジーの活動は年々地域生活に根を下ろし、着実にノーマライゼーションを实らせています。

私自身も通所者の親として、職員の一人として、4年間内側から見続けたパンジーを一言で表すなら、「ノープロブレム」（ご心配なく、かまいませんよ、どうぞどうぞ、一緒に考えましょうよ、皆同じ視点で）

パンジーはそんな人たちが集まっているところ、と感じています。（河野）



リニューアルパンを

どうぞ!

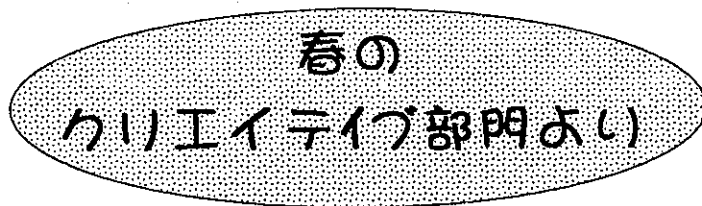


4月3日にパン部門に伊藤先生が来られました。伊藤康三先生（日本製パン研究会ホイトクラブ常任講師）は、クリエイティブハウス「パンジー」がオープンして以来、パン製造の指導をしてくださっています。今回は、今までの製品のチェックと新作を試みました。

製品の改良点は以前よりも発酵を長くすることによって、きめ細かな生地とふっくらとした口当たりをだしました。調理パンも上に乗せている具をパン全体で味わってもらおうと中に入れ込みました。

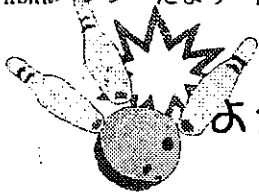
新作としてバタースコーンとパウンドケーキに挑戦しました。バタースコーンは、一口サイズでとても柔らかく噛めば噛むほど味わい深くなります。パウンドケーキはオレンジピール、クルミ、レーズンを使用し風味、歯ごたえにこだわっています。両方とも日持ちし、日が経つほど味わい深くなります。

大きなイベントの際には、ぜひパンジーのパウンドケーキをよろしくおねがいします。  
(竹内)



皆様、季節の変わり目、風邪などひかれていないでしょうか。桜が咲くととても穏やかな陽気の中、メンバーも外に飛び出たくてうずうずしています。

奈良の平城京のふもとに今、パンジーに携わる人の一人、芳野さんの耕してる畑を使わせてもらって、ジャガイモを作っています。農薬、化学肥料を一切使わない自然そのものおいしいジャガイモです。パンジーだよりをお読みの方々に真っ先にお届けしたい、そんな思いでメンバーは汗を流し、体を思いっきり動かし、大いに声を上げ楽しんでます。詳しくはチラシをごらんください。  
(池内)



## わくわくのページ

### よかったこと、気にしてほしいこと③

4月、最初のわくわくで、ほとんどのメンバーはひらかたパークへ行く予定でしたが、残念ながら雨のため大阪ドームなどに変更になりました。当日の変更で、メンバー、ヘルパーともに戸惑った人も多かったことでしょう。そんな中でのみんなの楽しかったこと、困ったことを聞いてみました。

Nさん : 雨ふってたから、早く帰りたいかった。

Tさん : (ヘルパーさんは) おとなしい人やな。テレやさんかな。  
あんまりしゃべれへんかった。

Sさん : 車のゲームを一人でやった。

———一人でやりたかったん?  
ほんとは一緒にやりたかったけど、  
どっちでもよかった。



### ヘルパーミーティングより

女性ヘルパーと一緒に、難波へ買い物に出かけた男性Mさん。気に入ったものも買えて楽しめたそうですが、会話の中で「女の人と話がしたい。どうやって声をかけたらいいか。」「結婚したいけどできるかなあ?どう思う?」と何度も聞かれ、返事に困った、とのヘルパーの感想がありました。Mさんにとっては切実な質問だと思いますが、「こうしたらどうですか」というアドバイスができない事柄です。Mさんにとって、もっといろんな人たちとの出会いや経験が何よりたいせつなのではないでしょうか。

ガイドヘルパーアンケートのご協力、ありがとうございました!

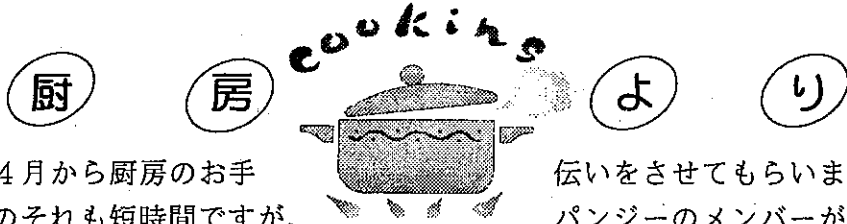
今後のわくわく活動の参考にさせていただきます。

なお、ガイドヘルパー研修会は、奇数月第3土曜日のわくわく終了後に実施します。現在活動中の方はもちろん、興味のある方、どんどん参加してください。

これからのわくわく活動・・・4月26日(土) パンジーまつり

5月11日(日) ふれあいまつり

**ガイドヘルパー大募集中!** パンジーまつり・ふれあいまつりで  
ガイドヘルパー体験をしてみませんか?パンジーまでご連絡下さい。



去年の4月から厨房のお手伝いをさせていただきました。週に1度のそれも短時間ですが、パンジーのメンバーがみんな楽しみにしている昼食のおてつだいは、それはやりがいがありました。お昼前ともなると、ホールに人がちらちらし始め、「今日は何？」とのぞきこんできます。そんなやりとりも楽しみでした。

食事のこだわりや好き嫌いは厨房でもよく把握しています。でも、少しづつなくなってくればよいなと願っています。

また、メンバーと職員との関わりを見て、甘やかしているように感じ“もっときびしくしたらいいのに”と思ったり、一方ではこういう関わり方もあったのかと、親として考えさせられる事も多くありました。

私は、3月でひとまず終了しましたが、お手伝いをしたというより、むしろ楽しくよい経験をさせていただいたと思います。(Y)

## ショップ「パンジー」のこころを斬る!

はじめてショップに足を踏み入れたとき、明るく清潔な店で、おっさんの私がエプロンをしてコーヒーを入れる?……「うそー」との思いでスタートした。コーヒーの味? カフェオーレ? 不安ばかりで、はっきり言って「お客さん、こないで……」と心に叫んで、店番をしたのを思い出す。

そんな中、メンバーの「いらっしゃい(森さん)」「今日も、さぶいでんな(生田さん)」「…どうぞ…(山内君)」「このスポンジ、洗いやすいですよ(栗岡さん)」など、お客さんへの対応のよさに励まされ、3か月がすぎてしまった。ショップで働くメンバーにとって、直接的な社会参加の場面である。

その間、私のしたことは……店の奥にあった太い柱を3本斬った、ことだけかも。店は広くなったが、喫茶店の雰囲気が強くなった。新古着の売り上げがもっとも多かった店にとって、これからの売り上げにヒビくかもしれない。でも、喫茶・パン・さをり・陶芸の目的のお客さんが一人でもたくさんこられることを祈ります。みなさんのお越しをお待ちしております。

ちなみに私は今月より新職員として、パン部門に入りました。よろしく。

(林 (光))

つばさより

## グループホームの、はげしい日々

私もグループホームの介護者として働かせて頂き、あっという間に3年目になりました。最初の頃、なれなくて眠れない日が続いたのを思い出します。様々な人たちと同じ「カマ」のメシを食べ、泣かしたり泣かされたり、疲れたり元気になったり、結構はげしい日々を送ってきたように思います。

今まで私が出会った人とちょっと違い、善い悪いの次元を越えて、強烈な個性というのを感じました。私も含めて一般的には無難に無難に波風が立たない事が美德とされている世の中ですが、もうすこし人間くさいはげしさが認められる世の中になれば、人間のいろいろな違い（個性）が出ておもしろくなるのかなあと思っています。

(伊藤)

ショートステイだより

## たいけんの、はる

4月からショートステイという事業が始まって、新しい顔ぶれの人たちがパンジーを訪れています。これまで体験宿泊をやってきた人たちはもう先輩です。初めてきた人が、玄関からなかなか中に入れずにいる気持ちは、もう忘れてしまっているかも…？

なれない空間や布団も何のその、ぐっすり眠れてしまった人、眠れなかった人など様々です。夕方の買い物を楽しんだり、お米をといだり、電子レンジを使ったり、いつもとは違う経験を楽しんでいるようです。ここで、他人と暮らす大変さやおもしろさをそれぞれに体験している「春」かもしれません。

(さとこ)

# わたしの横にいて!

「パンジー」講演感想文特集

暖かくなってゆくのと同時にパンジーに講演依頼が増えてきて、メンバーは元気に講演に出かけています。吹田の「ぶくぶくの会」(3/29)と豊中の「えーぜっとの会」(4/5)での講演で寄せられた感想をご紹介します!

●みんながんばっているんだなと思った。  
仕事楽しいことだと聞いて、カッコいい  
と思った。自立生活をめざしていること  
もすごいと思うけど、住みよい社会になれ  
ばいいなと思った。(Yさん)

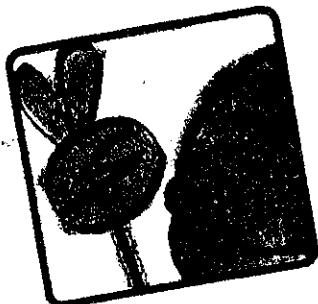
●「元気がでるはなし」でみんなの  
これからやってみたい事を聞いて良  
かった。もっと多くの人達の意見も  
聞きたかった。(Mさん)

●一人ひとりがまわりの人たちに助けてもらいながら、自立へ向けて、努力して  
いる様子がうかがえてとても良かったです。どんな人でも自信をもち、やればで  
きるんだという気持ちをもつことは大切な事だと思います。(Kさん)

●私は、自転車の練習をしています。  
本を読んでいます。(Hさん)



●ピープルファーストの歌よかった。  
アイムハッピーってやった。(Wさん)

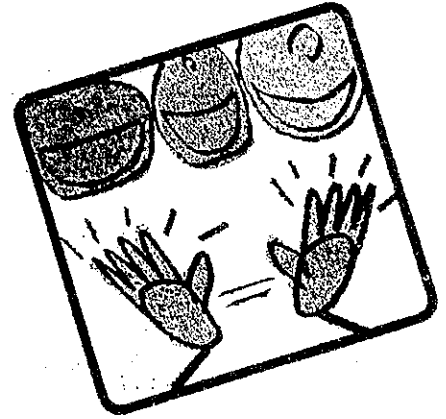


みんな  
おおい



たちあが  
いけんを

●こくべでいっかいみているのといっしょだったけど、  
なんかいみてもいいし、げんきがでできます。  
また、きてください。(Hさん)



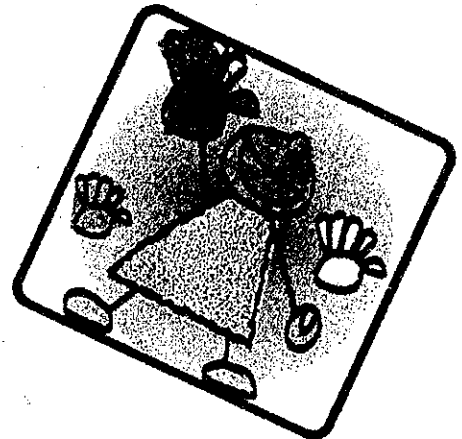
●げんきがよくてスカーッとしました。(Zさん)  
●みんながひとつになれたような気がします。  
とても幸せな気持ちになりました。(Kさん)

●みんな生き生きしていて世の中が  
みんなこんなんだったら、一人ひとり  
が、みりょくてきで何も間だいな  
くいきていけるのに。楽しかったで  
す。ありがとう。(Iさん)

●パンジーの人は、一人ひとりが本  
当の事を話していると思う。一緒に  
いて気持ちよかった。(Iさん)

●同じ職場の人達(仲間)が自分の思いを大きな声でみんなの前で言うこうけい  
がすごく印象的でした。とても楽しかったです。(Iさん)

●みんなテンションの高い人たちで驚いた。  
(ものすごいパワー!)短い時間でいろんな  
企画を考えてくれて楽しかった。全てを楽し  
んでいることが良く伝わってきました。  
会えてうれしい。(Kさん)



いけんのあとには、  
よくしゅ!

## 生きていく形を教える

中新井 滯子



『パンジーだより NO21』の記事「厨房のカウンターから」の中で、私が河野さんに語った「心のねたきり」の表現は、あまり適切でなく、誤解をうけるのではないかと気になっていたのので、今回はそのこと「心理的寝たきり」について書いてみたい。

心が幼児っぽい、あるいは頑く硬ばってうまく動かない、また外の世界に閉ざしたままの状態になることがある。これは障害の有無にかかわらず、心がうまく育てられなかった人や、心的外傷（拒絶、喪失、挫折、暴力など）を負った人に起きうると思われる。問題は心の状態がまわりの人に見えないので、その頑く々な態度や、引きこもり、時にパニックなどが、単なる本人のわがままや怠惰、反抗と見なされてしまうことである。当然厳しくしつける対応を望む声が多い。

前々回に登場したAさん。彼の心はまだ不安定で協調的に動けていない。彼の自己中心的な行動は、まわりの人に少なからず動揺を与える。実際、仲間のDさんは「Aさんに対しても、職員に対しても腹が立つ。どうしてもっと厳しく叱らないのか。見ていてイライラする」と私に話してくれたことがある。河野さんもきっと同意見だったのだろう。

身体の機能障害で寝たきり状態の人を起こしていくには、動かす形がある。筋肉をあたためほぐし、少しずつ可動域を拡げるといった援助には誰も腹が立たない。必要だと認めているからである。同様に、心理的な寝たきり状態にある人の場合も安心して心を開放し、人とのかかわりを通して心の柔軟性を身につけていくプロセスが必要ではないか。その上で、生きていく形を責任持って教えることになる。知的障害がなくても、引きこもりや家庭内暴力で苦しんでいる若者も多い。悩んでいるのは本人だけでなく、彼らの姉弟たちもきっと心を痛めているのだろうと、仲間のDさんの訴えを聞いていて思った。

メンバーもスタッフも共に生活しながら、心の成熟や回復のプロセスをどこまで許容しどこまで支えていけるか、これからも話し合っていきたい。そういえばこんな歌があった。

かわいくば 五つ教えて三つ褒め 三つ叱りて、よき人にせん。



ガイドヘルパー物語

## 活動を重ねることで、したい事、 楽しめる事が見えてくる

熊谷 公男

私が「わくわく」のガイドヘルパーを始めて三年目に入りました。はじめは障害者に対する知識もほとんどなく、メンバーさんと会話をしたり車椅子を押したり何もかもが初めての経験で、外に出ていってもとまどってばかりでした。活動を重ねていくうちにだんだんとなれ、メンバーさんともコミュニケーションがとれるようになり、ヘルパーの務めというものもなんとなくわかってきたように思います。

中には、コミュニケーションのとりにくいメンバーさんもいます。その人たちとも長く接していくうちに相手のことを知ることができ、相手も私の方を向いてくれるように思います。

彼らにだって人生の中でやりたい事、趣味や得意な事がたくさんあります。わくわく活動はこれらの事を普段の仕事をはなれて生かす場であります。ガイドヘルパー活動は彼らの主張をうけとめサポートしながら導いていく事です。そしてお互いが楽しむ事です。

歌うのが好きな人、身体を動かすのが好きな人、ひたすら食べるのが好きな人……。個性は様々ですが、数多く活動を重ねる事で、したい事、楽しめる事が見えてくると思います。また体験宿泊やグループホームのヘルパーとして生活を共にすることで、ちがった面も見えてきたりします。

彼らと将来について夢や希望を語り合ったり自立に必要な力をつけるためにルールづくりをするのもヘルパーの役目だと思います。

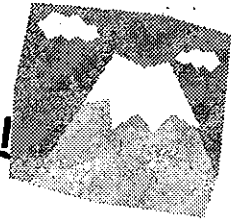
これからもどんどんこの活動に参加していき、自分自身障害者に対する知識を深め、外出先でとまどったり壁にぶちあたった時でも、のりこえていける力をつけていきたいと思っています。

またパンジーで開かれるガイドヘルパー研修会、その他の講演や手話講習などに参加して自分なりに勉強しているところです。

今後もガイドヘルパー活動を通じて、障害者も安心して生活しやすい社会づくりに協力していきたいと思っています。

## ぜんこくのなかまたち

しあおかにあつまろう!



ことしも、知的障害者全国交流集会在 ひらかれます。  
だい4かい大会は 静岡で することにきまりました。

「みんなで しあおかに はなしあおう会」

1997年 11月23日(にち)・24日(げつ)

じゅんぴは、全国役員(パンジーからは生田さん、麻窪さん)が2ヶ月に1回、静岡にあつまって、すすめています。

全国のなかまたち、静岡にあつまって  
自分たちのために がんばっていこう!

「神戸で みんなで はなしあおう会」が  
ビデオになりました。

記録ビデオ「だい3かい ちてきしょうがいしゃ ぜんこくこうりゅうしゅうかい

・神戸でみんなで話しあおう会」

1時間23分/定価 ¥5,000

昨年、11月30日・12月1日にひらかれた、第3回知的障害者全国交流集会、「神戸でみんなで話しあおう会」。全国のなかまがあつまり、日ごろ自分たちが考えていること、悩んでいること、腹のたつことなどを一人一人がエネルギーに自信をもって出しあいました。参加者全員が主役になった、この大会の様子をたのしく、わかりやすく編集しました。なお、この収益はすべて、知的障害者全国交流集会の運営費にあてさせていただきます。

問い合わせ・申し込みは、パンジー：0729-63-8818まで

## 春、元気いっぱいのBooks情報

### 「深い河を越えて」

知的障害者をよりよくサポートするための勉強会 記録

CILくにごち援助為センター編 1997年2月 500円

1995年6月から身体障害者のピア・カウンセラーである境屋うららを中心に、クリエイティブハウス「パンジー」の職員を対象に開催した勉強会の記録である。うららの勉強会を進めるにあたっての内面的葛藤と、職員の感想文。一人一人の心の揺さぶられ方が表現されていて興味深い。一読後、ぜひ、あなたの地域でも勉強会を！

### 「はやく、ゆっくり」

カリフォルニアピープルファーストに出会って

ピープル・ファーストから学ぶ実行委員会編 1997年4月 1000円  
アメリカのカリフォルニア州で開催された「'95自立生活支援会議」に参加した人たちが、アメリカにおける発達障害者の当事者運動から学ぶ点を明らかにし、日本においても知的障害者が力をつけることを支援したいと思う中で開催した連続講座の記録である。

ピープルファースト運動に出会っての感動や、当事者運動に突き動かされながら、カリフォルニアの発達障害者のための制度や法律が施設から地域へ、そして当事者中心へ変わっていく様子がうかがえる。

### これからも、とんとんと・・・

パンジーの元気がでる話

「みんなで神戸で話し合おう会」で初登場したパンジーの元気が出る話は、参加した人たちがとてもパワフルになるきっかけをつくってくれました。そしてそれ以降、「元気が出る話をしてほしい」と声がかかるようになり、メンバーの人たちは、さっそうと出かけていきます。私達は、知的障害を持つ人たちがリードするワークショップが全国各地で開かれる事を願って、ビデオを発売する予定です。楽しみにお待ち下さい。

(よしみ)

**書き損じハガキ、切手(未使用)を待っています!**

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力お願いします。

**ご協力ありがとうございました**

◁後援費を振り込んでいただいた方>(敬称を略させていただきます)

木村多加緒 大谷 強 泉原寛康 田中 誠 青 新一 柳 久子  
アトリエ・ホロニカ 浜 樹子 坂本吉章 墳下 千里

◁カンパ(寄付)をいただいた方>

泉原寛康 内田 滝川信明 古賀政行 大内

◁書き損じハガキをお送りいただいた方>

清水富佐代 石崎善康 滝川厚子 墳下千里 西田美智子  
赤塚千秋 山下太郎 伊藤康三 内田 伯井 大倉振興  
広川典子 福岡ひろみ

◁外へ飛び出すためのカンパをいただいた方>

柳 久子



**パンジーのメンバーが講演に行きます!**

障害者も健常者も共に暮らしやすい社会について、一緒に考えませんか。学校の教師や生徒、知的障害の人々、ヘルパー対象などどこへでもでかけてゆきます!  
詳しくはパンジーまでお電話ください。



**メンバーが全国へ飛び出すためにカンパをお願いします。**

全国の知的障害者が集う会議が各地で行われています。その会議では、自分たちのこと、将来のこと、自立についてなどを話し合います。

現在、旅費、宿泊費はメンバーの個人負担。

少しでもメンバーの負担を軽くするために、カンパをお願いします。

パンジーでは後援会員を募集しています。

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号	00950-1-300551		

クリエイティブハウス「パンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818  
"パンジー" FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市城東区東中浜2-10-3  
緑橋グリーンソイツ1F・7F企画気付